

胆管癌は予後不良な悪性腫瘍である。胆管癌の治療成績向上を目指して、診断・治療法の開発・改善のさまざまな取り組みが行われてきた。胆管癌の高危険群に対する検索から、早期の胆管癌を診断できる可能性もあるが、多くの胆管癌は進行癌の状態と診断されている。しばしば黄疸が診断の契機になっている。いかに胆管癌を拾い上げて、鑑別診断を行っていくかが重要である。また、手術適応や手術術式を的確に決定するために、正確・詳細な進展度診断が求められる。画像・内視鏡診断など、さまざまな診断法が用いられ進歩しているが、どのように組み合わせる胆管癌の診断を進めていくかを理解しておく必要がある。

外科手術については、本邦の専門施設が中心となって開発が推進され、優れた成績が報告されるようになってきた。しかし切除可能例でも、術後早期に再発する症例も多く、周術期の補助療法の導入が試みられている。まだ多くみられる切除不能例に対する薬物療法も進歩してきている。従来の化学療法に加えて分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬による治療も行われている。切除不能例に対する胆道ドレナージ・ステント治療も進歩が著しい。また放射線治療も一定の役割を果たしている。胆管内乳頭状腫瘍(IPNB)や肝内胆管癌に対する理解も進んできた。

このように複雑な胆管癌診療の現況を、エキスパートに解説していただいた。読者の理解の一助となることを祈っている。

(杉山 政則)

臨牀 消化器内科® Vol. 36 No. 11

©2021 年 9 月 20 日発行

定価 3,300 円

(本体 3,000 円 + 税 10%)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2021, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■ 広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791